

項目	説明	
試料・情報の	研究課題名	子宮頸癌炭素イオン線治療のブースト照射におけるリプラン割合の検討
利用目的及び	研究対象者	2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日にかけて重粒子線治療が施行された子宮頸癌患者さん 44 例
利用方法	研究目的	子宮頸癌に対する重粒子線治療では、36GyE/12 回の全骨盤照射の後に原発腫瘍およびリンパ節転移に対する追加照射として 19.2GyE/4 回が施行される。ブースト照射では子宮原発巣の移動を抑える目的で腔内に固定用器具や角綿を挿入して治療計画の再現に努めているものの、計画立案から照射開始まで日数がかかるため、腫瘍縮小までは追従し難い。当院では照射室に同室 CT があり、初回ブースト照射時に撮像した CT 画像で線量評価を行い、合算で線量制約を超える変化があった場合は、膀胱内容量の調整・寝台移動・ビーム使用割合の調整で対応し、それでも制約を超過する場合は再計画で対応している。子宮頸癌に対する重粒子線治療のブースト照射におけるリプラン割合についての研究報告はこれまで存在しないため当科の症例で検討する。
	研究方法	年齢、病理組織、p16 ステータス、病期、原発腫瘍体積、膀胱注入量の変更の有無、寝台移動の有無、リプランの有無と理由について、電子カルテや放射線治療計画装置から情報を収集する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 8 月 3 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[] 生年月日、[X]性別、[]既往歴、[]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(具体的に記載:放射線治療計画データ)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 放射線治療科 島 聖
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先：0455202222 神奈川県立がんセンター放射線治療科 島 聖 利用停止のお申し出は 2026 年 8 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	